## トラブル時の対処方法

故障が疑われる場合には、まず下記の項目について確認をお願いします。
それでも問題があるときは、『保証規定』をお読みのうえアフターサービスをお申し付けください。

| 現　象 | 原　因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 検温するたびに、温度の数値が違う。 | 体温は、時間帯、気温、睡眠、感情等の要因で常に変動しています。また個人差、年令等でも違いが見られます。<br>正しい平熱をあらかじめ検温しておいてください。 | |
| | 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30 分ほど待ってから測ってください。 | |
| | 体温計の先端（測温部）が温まっていると、正確な検温ができないことがあります。<br>くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温してください。 | |
| （右記の場合は、まれに低めに表示される） | 体温計の測温部が正しい位置にあてられていない。 | 『使用方法』の項に従い、正しい位置で再度検温してください。 |
| | 体が冷え切っていたためにワキ下の温度が低い。 | ワキを 1 ～ 2 分閉じて、温度を安定させてから再度検温してください。 |
| | 体温計が冷えている。 | 手等で体温計全体を温めてから再度検温してください。 |
| | 体温計の先端が温まっている。 | 先端（測温部）を冷ましてから再度検温してください。 |
| （右記の場合は、まれに高めに表示される） | すでにワキ下の温度が温まりすぎている。 | 10 分間の実測検温を行ってください。 |
| 他の体温計と比較して、<br>平熱が高めに表示される。 | 他の体温計が水銀体温計等の実測式であり、<br>検温時間が不十分であった。 | 「平衡温」を予測しているためであり、故障ではありませんので、<br>そのままご使用ください。 |
| いったん高めの表示が出て、<br>下がってからブザーが鳴る。 | 予測演算の途中のため。<br>（正常な動作です） | 表示が固定されてから、数値を読み取ってください。 |
| ワキ下から取り出したとき表示が変わる。 | 取り出しても予測演算が終了するまで若干の時間<br>がかかるため。(正常な動作です) | 表示が固定されてから、数値を読み取ってください。 |
| | 測温部に指等が触れて、検温が再スタートした。 | 測温部に指等が触れないようにしてください。 |
| ブザーが聞こえない。 | 周囲の音がうるさい。 | 静かな環境で再度検温してください。<br>又は 2 分以上検温してください。 |
| ブザーが止まらない。 | 静電気による誤作動。 | いったん収納ケースに戻してから、再度検温してください。 |
| 初期表示（体温計を収納ケースから取<br>り出したときの表示）が正常でない。 | | |
| EE が表示される。 | | |
| 表示が点滅する。 | 1 回目のブザーが鳴る前に、体温計の位置がずれた。 | 『使用方法』の項に従い、体温計をずらさないようにして<br>正しい位置で再度検温してください。 |
| E が表示される。 | 1 回目のブザーが鳴る前に、体温計が外れた。 | |
| 10 分経過時のブザーが鳴らない。 | 1 回目のブザーが鳴った後、体温計の位置がずれた。 | |
| 0 が表示される。 | 検温値が 42℃を超えている。 | 人の体温測定以外に使用しないでください。再度検温する際は<br>いったん収納ケースに戻してからにしてください。 |
| 「予測」マークが消えている。 | 検温開始から 4 分 30 秒以上経過し、実測値を表<br>示している。 | 予測検温する場合は、再度検温してください。 |
| 再検温の際、ブザーが鳴らず、<br>前回の表示が残っている。 | 体温計の測温部の温度が高いため測定が開始されない。 | 少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから<br>再度検温してください。 |
| Lo を表示する。 | 使用可能な周囲温度の下限を超えている。 | 表示が消える（「88.8」が示される）まで、室温になじませてから、<br>検温してください。 |
| H i を表示する。 | 使用可能な周囲温度の上限を超えている。 | |
| 表示が点滅する。 | 電池電圧が低下している。 | 新しい体温計をお買い求めください。 |
| 表示が点灯する、他の表示が消灯する。 | 電池が完全に消耗した。 | |

管理医療機器
一般的名称：電子体温計　販売名：テルモ電子体温計C205　医療機器認証番号　222AABZX00106

TERUMO®

製造販売業者：テルモ株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

EMC適合　本製品はEMC規格 IEC 60601-1-2：2004に適合しております。
CISPR グループ分類：グループ1
クラス分類：クラスB

®、TERUMO、テルモはテルモ（株）の登録商標です。　©テルモ株式会社　2013年11月　13J09
ET_C205P_J_50_001_04



2013年11月作成
テルモ社内管理コード　*ET44J205PC*

# テルモ電子体温計C205

ワキ下

（コード番号：ET–C205P）
予測式平均約 30秒予測 ➡ 実測検温

取扱説明書

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

## 安全上のご注意

本取扱説明書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | 特に注意していただきたいことを示します。<br>・適正に使用しても、注意を怠ると死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。 |
| ⚠ 注 意 | 使用にあたり、一般的な注意を示します。<br>・誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害※のみの発生が予想されます。<br>※物的損害とは、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。 |

### 警　告

●子供だけで使わせないでください。

### 注　意

#### 使用上の注意

●測定結果の診断、治療は医師の指導に従って行ってください。
●引火性のある環境では使用しないでください。
●使用の前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。
●以下の項目は予測／実測精度に影響するため、注意してください。
・飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ってください。
・ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ってください。
・検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。
・ワキ下に強く密着させて測定してください。
・くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温してください。
●人の体温測定以外に使用しないでください。
●強い静電気や電磁波、磁石等に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないでください。
●本製品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないでください。
●分解、修理、改造は行わないでください。

#### 保守・点検上の注意

●本体と収納ケースを洗う際は、水で洗ってください。収納ケースに収める際、乾いた布等で水気を拭き取ってください。
●消毒する場合は、消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させてください。他の方法での消毒はしないでください。
●消毒液等に浸す場合は、必要な時間だけ行ってください。消毒に必要な時間については消毒液の添付文書を参照してください。
●熱湯消毒（50℃以上）しないでください。

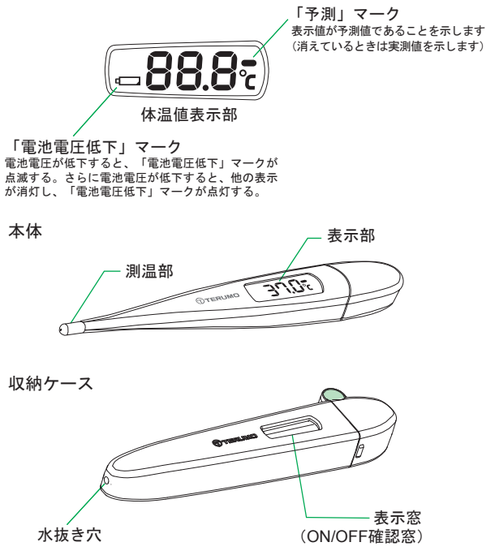
#### 保管上の注意

●電池の寿命が短くなるので、体温計は必ず、収納ケースに収めて保管してください。

## 特長

●収納ケースからの出し入れにより、自動的にスイッチが作動します。(ON/OFF 確認窓付)
●水洗いや消毒が可能な耐水構造です。
・収納ケースの消毒を容易にするため、収納ケースには水抜き穴が開けてあります。
●この体温計は予測検温と実測検温の2通りで測定できます。
・平均約 30 秒（おおよそ 25 秒～ 40 秒）で平衡温を予測しブザーでお知らせします。
・自動的に実測検温が行えます。(約10分経過後、再びブザーでお知らせします)
●丈夫で保管や携帯に便利な収納ケース付きです。

## 各部の名称

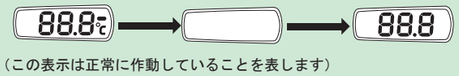



## 使用方法

※ワキ下が密着できない方は、口中用体温計のご使用をお奨めします。
※微熱等、特に厳密な体温管理が必要な場合には、実測検温（10分以上）を行うことをお奨めします。

### 予測検温のしかた

**1．収納ケースから体温計を取り出してください。**
表示は次のようになります。




（この表示は正常に作動していることを表します）

## 2．体温計を正しい位置にあててください。

ワキ下中央のくぼんだところに測温部をあて、先を押し上げるように保持してワキをしっかり閉じてください。

ワキ下中央のくぼみ。

**ワキ下への体温計の挿入角度は、上半身に対し30°の角度が最適です。**

ワキを閉じた後はひじが脇腹にしっかりあたるようにし、手のひらを上に向け、もう一方の手で軽くひじを押えてください。このときひじをおなかの方に引き付けないようにしてください。

●体温計を真横からはさまないでください。先端（測温部）がワキ下中央に正しくあたらないために、正確な検温ができません。

## 3．検温が始まります。

検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。体温計の測温部が正しい位置からずれると、正確な検温ができないことがあります。

## 4．予測が成立するとブザーが鳴ります。

平均約30秒（おおよそ25秒～ 40秒）で予測が成立します。

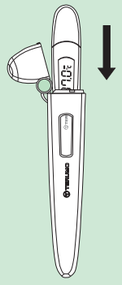
## 5．体温計を取り出し、表示部の数値を読み取ってください。

**（予測検温の場合）**

「予測」マークが点灯しているときは、予測値を表示しています。
表示された数値は収納ケースに収めるまでそのまま保持されます。

●取り出してから表示値が変化したときは、変化後の（固定した）値を読み取ってください。予測演算が終了するまで若干の時間がかかるためです。
●数値を読み取る際、体温計の先端（測温部）に触れないでください。表示が変化することがあります。
●表示が点滅するときは、最初から検温をやり直してください。

## 6．検温が終わりましたら、体温計は必ず収納ケースに収めて保管してください。



収納ケースに収めますと、内蔵の磁石により、自動的に電源が切れます。（収納ケースの表示窓から電源が切れていることを確認できます。）収納ケースに収めずに保管しますと、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

● 保管する際は、暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管してください。故障の原因となります。

## 実測検温のしかた

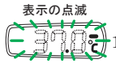
**■実測検温の場合は、１回目のブザーが鳴っても、体温計を取り出さずに、そのまま検温を続けてください。約10分経過後、２回目のブザーが鳴りますので、体温計を取り出し、表示部の数値を読み取ってください。**

「予測」マークが消灯しているときは、実測値を表示しています。
表示された数値は収納ケースに収めるまでそのまま保持されます。

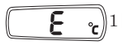
## ■次のような表示が出たときは、正しい方法で検温し直してください。

１回目のブザーが鳴る前に、体温計の位置がずれたり、外れたりした場合には、下記のような表示が出ます。

表示の点滅




１回目のブザーが鳴る前に、体温計の位置がずれた。




１回目のブザーが鳴る前に、体温計が外れた。

検温値が42℃を超えている場合には下記のような表示が出ます。
再度検温する際は必ず、収納ケースに戻してからご使用ください。

## ■くりかえし検温するとき

●少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温してください。そのまま測ると、正確な検温ができないことがあります。
●「０」表示以外は収納ケースに戻す必要はありません。前の数値が残ったままでも検温できます。

## ■電池寿命について

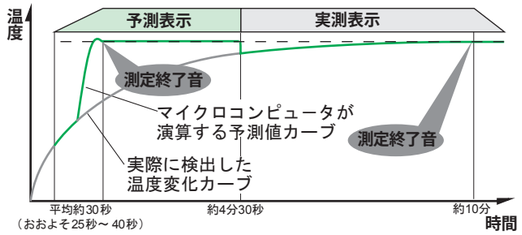
●予測検温にて、約10,000回ご使用になれます。
●電池電圧が低下すると、「電池電圧低下」マークが点滅します。さらに電池電圧が低下すると、他の表示が消灯し、「電池電圧低下」マークが点灯します。
●電池は交換できない構造になっていますので、電池が切れた場合は新しい体温計をお買い求めください。本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って正しく処分してください。



## 平衡温について

**平衡温とは？**

ワキ下で体温を測る場合、測定開始後10分以上経過すると、“もうこれ以上体温計の表示が上がらない”という温度に達します。これを『平衡温』と呼び、一般的にはこれを『体温』としています。




### 平衡温予測方式とは？

テルモの予測式電子体温計は『平衡温予測方式』の採用により、10分以上の検温を必要とする平衡温を平均約 30 秒（おおよそ 25 秒～ 40 秒）という短時間で予測演算します。これは、多数の体温測定結果から体温の上昇カーブを解析し、そのデータを基に、マイクロコンピュータが、検温時の温度上昇を細かく分析、演算して平衡温を予測し表示する方式です。

### そのまま測り続けると実測検温に切り替わります

最初のブザーが鳴っても、そのまま測り続け約４分30秒経過すると、自動的に実測表示に切り替わり、測定開始から約10分経過後に再びブザーでお知らせします。

## 仕　様

仕様は改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

| | |
|---|---|
| 販売名 | テルモ電子体温計C205 |
| 型　式 | C205 |
| 測温方式 | 予測式（予測検温、実測検温兼用）<br>温度検出：サーミスタ |
| 検温部位 | ワキ下 |
| 測温範囲 | 32.0 ～ 42.0℃ |
| 検温時間 | 予測検温時間　平均約30秒（おおよそ25秒～ 40秒）<br>測定開始後、約４分30秒後実測表示に切替<br>実測検温時間　約10分（ブザーで告知） |
| 温度精度 | ±0.1℃<br>（恒温水槽を用いて約１分間測定したときの表示温度の標準温度計に対する誤差） |
| 表示方式 | 液晶表示素子による３桁デジタル表示<br>（最小表示単位：0.1℃） |
| 電源電圧 | DC3.0V　アルカリマンガン電池（LR41）２個<br>（交換不可） |
| 消費電力 | 約0.3mW |
| 分　類 | 内部電源機器・BF形装着部・IPX7 |
| 使用条件 | 周囲温度10 ～ 40℃　相対湿度 30 ～ 85%RH<br>（ただし、結露なきこと） |
| 保管条件 | 周囲温度－10 ～ 50℃　相対湿度 30 ～ 95%RH<br>（ただし、結露なきこと） |
| 外観寸法 | 長さ129mm×幅17.6mm×厚さ12.6mm |
| 質　量 | 約13.0g（電池含む） |
| 付属品 | 添付文書/EMC技術資料、取扱説明書、収納ケース |

## ご相談・お問い合わせ先

この商品に関するご相談やお問い合わせは、製品コードをご確認の上、お買い上げの販売店又は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

**テルモホームページアドレス**
**http://www.terumo.co.jp/consumer/**

**テルモ・コールセンター**
**0120-008-178**
（9:00～17:00土・日・祝日を除く）

この体温計の製品コードはET－C205Pです。